

文星芸大附属高校 同窓会(三敬会)会報

栃木県宇都宮市睦町1-4
文星芸大附属高等学校同窓会
TEL 028(636)8585
FAX 028(633)2321
発行人 加藤 明男
令和2年2月28日発行

創立百十周年を間近にして

会長 加藤 明男



新元号が令和となり、やはり天皇の代わりは日本人にとって一大関心事であり、新元号への希望を託す人も多いことを知ることもできます。同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、同窓会へのご支援、ご協力に對しまして厚く御礼申し上げます。

昨年六月一日(第一土曜日)に同窓会総会、そして懇親会を開催したところ、学校法人宇都宮学園上野憲示理事長をはじめ、多くの同窓生、教職員の皆様や昨年卒業された同窓生に参加いただきました盛大に開催できましたことを感謝いたします。

総会では、二組の親子三代表彰(鈴木悦夫・大輔・康生様三代と鈴木敏夫・紀亮・愛也様三代)がありました。そして、懇親会においては、同窓会の総務部が中心となり盛大に開催することができました、ご苦勞に感謝申し上げます。

昨年の特筆すべきこととして、七月三日に高橋薫先生(昭和四十九年卒)元硬式野球部監督が、七月三十日にはバスケットボール部の監督をされておりました伊藤均先生(昭和六十三年卒)が現職で亡くなられ、九月二日には同窓会役員として活躍していただきました近

藤藤二理事(昭和三十五年卒)が、そして十月十七日には同窓会役員の重鎮でありました若澤伸参与(昭和二十八年卒)と文星高校を代表する偉大な同窓生を失い残念でなりません。この場をお借りし、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

本校は明治四十四年に創立者上野安紹先生が、三敬精神を建学の理念として、教育実践の柱とし、「一、自己を敬へ・一、他人を敬へ・一、仕事を敬へ」の三つの敬へがあります。「自己を敬へ」とは自分を大切に、自信を持って人生を精いっぱい生活しようというものでございます。しかし、社会は自分一人ではなく、自分の思うように事は成りません、そこに「他人を敬へ」が必要であり社会が成り立ってまいります。しかし、生産性がなければ生活していくことができません、そこで「仕事を敬へ」があり、真面目に勤勞することが個人としての幸福への近道であり、社会発展の根源であります。以上三敬精神は永久不滅の素晴らしい精神であると思

います。

今年も、創立百十周年に向けての準備も学校PTA、同窓会三者の協力のもと、意義ある周年行事実施のための話し合いが持たれることと思

います。結びに、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げますとともに、母校及び同窓会の今後ますますの発展のために、皆様の変わらぬお力添えを心からお願ひ申し上げます。

継れ 新たななり

学校法人宇都宮学園理事長



上野 憲示

陽春の訪れとともに、清々しく「令和」の新しい時代を迎え、日本国民は、新時代の幕開けを喜び、天皇ご即位の日から、この美しい国を愛しつつ、和魂を胸に揺るぎない礎の上で確かな歩みが続けています。

今年、本学園は創立一一〇年を迎えます。創立者、上野安紹先生の間人教育への熱情と、未来を担う若者への深き愛は、今もなお本学園の根幹となり真実として生き続けています。

大正近い明治四十四年の創立以来、幾重にも時を重ね、延べ約三万二千名を超える多くの卒業生は、学園への愛校心とともに、本校発展のために多大なるお力をそそいでくださいました。この長きにわたる隆盛とその輝かしい歴史を支えてくださった、同窓会(三敬会)の皆様には、深く厚く、感謝御礼申し上げます。

睦町の学舎の部屋には、「質実剛健」「士魂商才」「三敬」他、かつての偉人、書家が筆を執られた作品が、色褪せながらも堂々と飾られております。その書が放つ力は、まさにひとり人間の生き抜くための魂の力として、見るものを惹きつけます。

西暦二〇二〇年、令和二年。昭和から平成を経て、日々変化変動する社会情勢とともに、現在も多くの在校生は、多方面の様々な分野で活躍をしながら高い目標に向かって日々努力精進しています。引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

「文星昌」のまはゆい光彩を放つ総合学園としての文星が、継れ新たなものとして、今後ともさらなる発展を重ねていくことを願ひ、同窓会(三敬会)の栄光ある発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

受け継がれる校訓

文星芸術大学附属高等学校校長



大塚 晃

この度、平成三十二年四月文星芸術大学附属高等学校の校長に就任いたしました。大塚です。どうぞよろしくお願ひいたします。同窓会(三敬会)の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に對し、深いご理解とご協力いただき厚く御礼申し上げます。

五月には新元号「令和」の時代が始まり、私自身昭和・平成・令和の三つの時代を長きにわたり勤務できたことに感謝するとともに、多くの生徒(卒業生)と関われたことは、この上ない喜びです。そして今後も、日々の職務に邁進していく所存です。

さて、本校は東京オリンピック・パラリンピックの開催される記念すべき令和二年に創立一一〇年を迎えます。現在、記念式典を十一月に実施すべく準備が進められています。長い歴史の中でいろいろなものの変化しても、本校の教育理念である校訓「三敬精神」の体得実践こそが、多くの卒業生の皆さんに一貫して変わることのない教えであり、それは社会に貢献できる人間の礎となる不動の精神だと信じています。本校で学んだ生徒たちが、急速かつ大きく変化する実社会で的確に對峙し時代を逞しく切り拓き成長できるような人材の育成に教職員一同取り組んでいます。今在校生たちは、部活動や進路に向けてそれぞれ大きな目標をたて日々努力精進しているところです。

本校の歴史と伝統に鑑みながら、同窓生の皆様にも誇らしい文星芸術大学附属高等学校であり続けるために、今後とも生徒の教育に全力で取り組んで参ります。同窓会(三敬会)の皆様のご支援とご鞭撻をお願ひ申し上げます。

二〇一九年度文星芸大附属高同窓会(三敬会)総会



令和元年六月一日(土)午後五時より、宇都宮市内のホテルニューイタヤにおいて、平成から令和に年号が変わり初めての二〇一九年度文星芸術大学附属高等学校同窓会(三敬会)総会が開催されました。

会場には、幅広い年代の同窓生と、来賓として学校法人宇都宮学園上野憲示理事長、文星芸術大学附属高等学校大塚晃校長、上野通子参議院議員、宇都宮文星女子高等学校上野一典校長の出席をいただきました。

総会は大和勝夫副会長の開会のことばで幕を開け、加藤明男会長、大塚校長、上野参議院議員、宇都宮文星女子高等学校上野校長より挨拶をいただきました。

その後、本題の議事に移り、規約により議長に選出された加藤会長の進行で議事が進められました。山星浩孝事務局長から平成三十年度事業及び会計決算報告、落合満副会長から監査報告、また山星事務局長から二〇一九年度事業計画案及び予算案の説明があり、審議の結果、全議案が滞りなく満場一致で可決承認されました。

続いて、親子三代表彰が行われ、今年は一組(一組目、鈴木悦夫・大輔・康生様、二組目は鈴木敏夫・紀亮・愛也様)の方々が表彰となり、そのうちの二組、鈴木大輔・康生親子に出席いただきました。

総会終了後には懇親会が開催され、今までの参加の少なかつた若い方の参加が目立ちました。特に、平成二十六年度から学校の協力により同窓会クラス代表幹事が選出されたこともあり、本年は浅川颯さんをはじめ、六十名の参加をいただきましたことは今後の明るい話題となり、会場を大いに盛り上げていただきました。



二時間の懇親会も盛会のうちに終了となり、再会を約束し閉会となりました。

(藤崎則之記)

高校時代の思い出

昭和三十八年三月卒業(一五回)

戸崎 國行

私は、古き良き伝統ある宇都宮学園に昭和三十五年四月に入学致しました。入学後の特筆すべき思い出は、野球部が昭和三十六年夏季の第四十三回全国高等学校野球選手権に栃木県代表として出場したことです。県予選会時より応援の練習は行っておりましたが、決定後は更に練習に熱が入り活気に満ち最高潮に達し、全校生徒が興奮いたしましたことを思い出します。

次の思い出は三学年進級時に、学校より図書委員長に任命いただきました。一学年から三学年の各クラスより選出されました委員との初会議を図書館で開催いたしました。担当の福田寛先生(図書責任)より、図書委員の基本方針や行動指針の説明・ご指導をいただきました。私は、委員長としての一年間の目標を掲げ、全校生徒が図書館及び読書本の利用頻度の改善策として(アップ)一人最低でも年一回以上の利用を級友に図書委員が呼び掛ける方針を提案し、全員賛成を得て即刻にスタートし、大成功しました。また、県立宇都宮高校にて開催されました、宇都宮市内高校図書委員長会議に出席し、各グループに分かれて、議題を設けロールプレイング方式で検討のうえ発表し、それを質疑し合う方法で、非常に参考になりました。そのことを学校に持ち帰り、全図書委員に同じ方法で実施し、図書館利用目的のレベルアップに寄与したことを今でも誇らしく感

文星芸大附属高校OBの活躍

市議会議員 岡本 源二郎



平成二十四年に本学を卒業しました、岡本源二郎と申します。市議会議員選挙に当たっては、文星の先輩方、同窓生がいち早く応援協力をしてくださり、また上野理事長ご夫妻も応援に駆けつけて下さったおかげで、大いに盛り上がり選挙戦を戦い抜くことができました。この場をお借りして皆様へ感謝の意を伝えさせていただきます。

私の曾祖父、半田清重は宇都宮実業高等学校の第一回卒業生です。また私は学園の創立百周年で生徒会長として祝辞を述べる榮譽をいただき学園との深い縁を感じております。

宇都宮市議会議員に立候補する。と決断するに至るのも文星で六年間通った、学校、学友のおかげであります。本学に入学した当時、私は目標を持っていませんでした。ところが同じ十六歳で、東大を目指すか、奨励会に挑戦するか真剣に悩むもの。周囲から何を言われても医者になると決めて勉強をし続けるもの。オリンピックの開会式でファンファーレを吹くため警視庁を目指すもの。それらの学

友に刺激をうけ、人生において目標をもつ大切さに気付くことができました。

令和元年度九月一般質問においてインクルーシブ教育と、若者の自立、就労支援などについて質問させていただきました。しかし、一年生議員として、やるべきことは山積みです。課題に直面することも何度もありました。これからの様々な課題が立ちほだかると思います。しかし、そんなとき本学の建学の精神である「三敬精神」に立ち戻り、「ライオン主義」で一日一日を全力で働いてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願

いいたします。

教員紹介

平成二十五年卒 糸川 訓廣

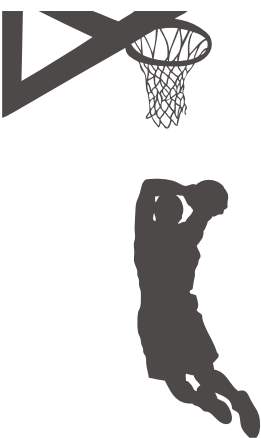
昨年度より本校の職員としてお世話になっております、糸川訓廣と申します。文星の卒業生として、母校に恩返しができることに大変感銘を受けております。いち早く仕事に慣れ、文星の名に恥じないような指導ができる教員になれるよう、より一層精進していきたいと思っております。

文星の生徒は、「三敬精神」「ライオン主義」をモットーに何事に対しても全力で取り組む姿が見受けられると同時に、常に親身になってご指導なさる諸先生方にも日々感心させられており、私は、これこそが文星の誇るべきところであると思っております。素晴らしい先輩方の背中を追いかけて、少しでも早く一人前の教員として生徒に関われるよう、また、文星がより輝けるよう努力して参りたいと思っております。

平成十八年卒 吉澤 啓貴 (バスケットボール部 監督)

十一月四日、全国高等学校バスケット選手権大会栃木県予選会で優勝し、昨年に引き続きウインターカップに出場することが決まり、十二月二十四日に熊本県の九州学院高校と試合をしてみたいました。全国大会では良い結果を残すことは出来ませんでした。ウインターカップ栃木県予選では2連覇を果たすことができました。このような結果を取ることができましたのも、皆様方の応援が選手に届いていたからだと思えます。本当にありがとうございます。

今年の夏、長年監督を務められていた伊藤先生が若くしてお亡くなりになりました。『文星バスケット部』伊藤先生という程、私や選手は伊藤先生に導かれながら活動してきました。ここ数年では、インターハイ3年連続出場、関東大会Bブロック準優勝と輝かしい成績を収めていました。これから更に結果を出していけると思った矢先の事で、まだまだ気持ちの整理がつかないというのが本音です。しかし、残された私たちスタッフや、選手たちは立ち止まるわけにはいきませぬ。伊藤先生の思いを継ぎ、伊藤先生が常々おっしゃられていた『文星史上最高の成績』を残すために、これからも全力で頑張つてまいりますので、引き続き応援よろしくお願いたします。



じております。

更なる思い出は、三年生の最大のイベント関西方面練成修学旅行(昭和三十七年八月三日から八日までの六日間)夏休み期間を利用し、上野秀文学校長をはじめ引率先生・宇学生・育英校生、総数二百五十名参加で、伊勢神宮の内宮外宮・伊勢志摩・奈良・大阪・京都・熱海と「練成」旅行が実施され、特筆する思い出として、鳥羽真珠島での海女さんたちの素潜りにて真珠貝採取のデモンストレーションは「簡単に見えますが」その日その日によって、海中透明度・海流の速さ・波の高低・天候によって、真珠貝は〇個の日もあるとベテラン海女さんより説明して頂き、ネックレスや指輪が使用できるのも海女さんのお陰と全員感謝の思いでした。

もう一つの旅行での思い出は、緑の木々に囲まれ池の水面に映った黄金色の煌びやかで荘厳・日本建築の粋を結集した金閣寺は日本の国宝文化財として、見学し非常に感激で胸一杯になりました。その他、文面では書き表す事が出来ない風景や事柄が、たくさん思い出されます。

総数二百五十名のお一人お一人が「沢山の思い出」をお土産に宇都宮の学舎に元気で戻った当時を懐かしく思い出します。

「三敬精神」の校訓は私の人生の心の「礎」として、現在も尚大きな原動力として、流れております。ありがとうございます。

結びに同窓会(三敬会)の繁栄と益々の発展と会員皆様の幸多からん事を祈念申し上げます。

令和元年度各種大会結果報告

運動部

◎硬式野球部

第101回全国高等学校野球選手権記念栃木大会
決勝で作新学院に2対6敗退 準優勝！
第72回秋季栃木県高等学校野球大会
決勝で青藍泰斗に4対5敗退 準優勝！
第72回秋季関東地区高等学校野球大会出場！
1回戦で山梨学院（山梨）に6対11敗退

◎陸上競技部

令和元年度関東高等学校陸上競技大会出場！
磯田力（3年） 斉藤水遠（2年） 石川ジン（1年）
令和元年度全国高等学校総合体育大会出場！
磯田力（3年） 予選敗退
栃木県新人陸上競技大会
斉藤水遠（2年） 砲丸投3位
石川ジン（1年） 円盤投1位・ハンマー投2位

第23回関東選抜新人陸上競技選手権大会
斉藤水遠（2年） 砲丸投3位
石川ジン（1年） ハンマー投・円盤投

予選敗退

◎駅伝部

第90回栃木県陸上競技選手権大会
関本敬太（1年） 8000m第6位
関東大会出場！

第92回関東陸上競技選手権大会
関本（1年） 8000m第6位
第72回関東高等学校駅伝競走大会出場！
第33位

◎柔道部

関東ジュニア体重別選手権大会県予選会
高杉未羽（3年） 100kg級 準優勝！
令和元年度全国高等学校総合体育大会
柔道競技大会出場！

◎剣道部

第66回関東高等学校剣道大会出場
予選リーグ敗退

◎ソフトテニス部

栃木県高等学校総合体育大会
兼関東高等学校ソフトテニス大会県予選
決勝リーグ2勝1敗で準優勝し、関東大会出場！
第60回関東高等学校ソフトテニス団体選手権大会
1回戦敗退
第70回関東高等学校ソフトテニス選手権大会
根本・糸山（ともに3年） 2回戦敗退
斎藤・竹澤（ともに3年） 3回戦敗退
全日本ソフトテニス選手権大会（宮崎県） 出場！
個人戦 根本・糸山（ともに3年）
1回戦長崎工業（長崎）に4対0で勝利、
2回戦東北（宮城）に0対4で敗退

◎テニス部

第93回関東ジュニア選手権大会出場！
亀井泰造（1年） ベスト16
令和元年度栃木県高等学校新人テニス大会
決勝で足大附に2対3で敗退 準優勝！
令和元年度関東選抜高校テニス大会出場！
第8位

◎卓球部

令和元年度第23回関東高等学校新人卓球大会出場！

◎バスケットボール部

栃木県高等学校総合体育大会
県で準優勝し、関東大会出場！
Bブロック 準優勝！

令和元年度全国高等学校総合体育大会

バスケットボール競技大会出場！
1回戦羽黒（山形）に71対101で敗退
第50回全国高等学校バスケットボール選手権大会
県予選

決勝戦で宇工に102対89で優勝！
ウィンターカップ2019第72回全国高等学校
バスケットボール選手権大会出場！
1回戦九州学院（熊本）に74対82で敗退

◎特殊運動（スキー）

栃木県高校総合体育大会スキー競技会
武田謙太郎（3年） 男子回転3位・
男子大回転3位
（関東大会・全国大会出場獲得！）

文化部

◎写真部

第41回栃木県高等学校総合文化祭写真展
A部門課題作品の部 広瀬開（2年） 準特選！

◎将棋部

第55回全国高等学校将棋選手権大会県予選
Aチーム優勝！
第55回全国高等学校将棋選手権大会団体戦
大将・鹿野隼人（3年）
副将・速水秀馬（2年）
ベスト16 三将・加藤真純（2年）

第32回全国高等学校将棋竜王戦（福岡）
速水秀馬（2年） 優勝！

第32回全国高等学校将棋竜王戦（福岡）
速水秀馬（2年） 決勝トーナメント1回戦敗退

第30回関東地区高等学校文化連盟将棋大会県予選
速水秀馬（2年） 優勝！

第30回関東地区高等学校文化連盟将棋大会
加藤真純（2年） 準優勝！

第30回関東地区高等学校文化連盟将棋大会
速水秀馬（2年） 第4位

第28回全国高等学校文化連盟将棋新人大会県予選
速水秀馬（2年） 優勝（全国大会出場！）

加藤真純（2年） 準優勝（全国大会出場！）

部活動OB会一覧

※各部に顧問（担当教諭）を通じて調査した結果、OB会の存在と活動が確認された部と、その後連絡のあった部について掲載しました。一覧より漏れている場合は、同窓会事務局まで連絡をお願いいたします。

名称	代表者（事務局）	卒年	住所	連絡先
硬式野球部OB会	山本 久一 （佐藤 幸雄）	（S52） （S43）	宇都宮市飯田町215-4 （秀文記念スタジアム内）	090-4415-0005
バスケットボール部OB会	神長 幸司 （宇津江 貴志）	（S48） （S50）	鹿沼市下田町2-1078	090-3146-7912
柔道部OB会	菊地 孝	（H3）	野木町潤島112-13	090-8684-7760
剣道部OB会	川股 通浩 （加藤 明男）	（S40） （S48）	宇都宮市中岡本町3715-181	090-4591-8005
応援団部OB会	堀江 一成 （堀江 一成）	（S53）	宇都宮市中岡本町2659-60	090-4545-3968